

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	関節炎患者における血清 Semaphorin 3A と骨代謝・疾患活動性との関連に関する後ろ向き観察研究	
1. 研究の目的と方法	関節リウマチでは、治療によって関節の炎症が落ち着いていても、骨がもろくなるなどの骨の異常が残ることがあります。その原因の一つとして、骨をつくる働きと骨を壊す働きのバランスに関係する「Semaphorin 3A（セマフォリン 3A）」という物質が注目されています。 本研究では、これまでの研究や診療ですでに得られている血液検査の結果や診療録を用いて、関節リウマチの患者さんと変形性関節症の患者さんで Semaphorin 3A の値を比較します。また、関節リウマチの患者さんでは、Semaphorin 3A の値と病気の活動性、骨をつくる働きや骨を壊す働きを示す血液検査、骨密度、治療内容などとの関係を調べます。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院で関節リウマチまたは変形性関節症の診療を受けた 40 歳以上の患者さんのうち、過去の研究に参加し、血液検査や診療情報がすでに得られている方を対象とします。 過去の研究： ①研究課題名：ヒトの筋骨格系組織に蓄積する終末糖化産物 (AGEs) の定量と筋骨格系疾患の病態解明（受付番号：26-312 (7818)） ②研究課題名：関節リウマチ患者の骨量および骨代謝マーカーの推移に関する前向き研究（受付番号：35-322 (11953)）	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	保存血清
	(2) 試料の取得の方法	過去に当院で実施された研究において、研究参加者から採血して取得し、保存されている血清を使用します。本研究のために新たな採血は行いません。
	(3) 情報の種類	年齢、性別、病名、関節リウマチの罹病期間や病気の活動性、治療薬の使用状況、腎機能、血糖に関する検査値、骨密度などの診療情報、および Semaphorin 3A や骨の代謝に関する血液検査の結果を利用します。
	(4) 情報の取得の方法	当院の診療録および過去に当院で実施された研究で得られた情報から、研究に必要な項目を収集します。また、保存されている血清を用いて必要な項目を測定します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	

	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名	斎藤 充
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 11 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 研究責任者：教授 斎藤 充（さいとう みつる） 窓口担当者：助教 山下 祐（やました ゆう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3441） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。